



2021年11月12日

各位

会社名 株式会社 C & G システムズ
代表者名 代表取締役社長 塩田 聖一
(コード：6633 東証第二部)
問合せ先 取締役管理統括部長 小島 利幸
(TEL. 03-6864-0777)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は最近の業績動向を踏まえ、2021年2月12日に公表しました通期（2021年1月1日～2021年12月31日）連結業績予想について、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年12月期通期連結業績予想の修正（2021年1月1日～2021年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,757	193	217	119	12.62円
今回発表予想 (B)	3,718	269	338	217	22.89円
増減額 (B-A)	△39	+75	+120	+97	
増減率 (%)	△1.0	+38.9	+55.5	+81.5	
(ご参考) 前期実績 (2020年12月期通期)	3,684	192	155	60	6.36円

2. 通期連結業績予想数値の修正の理由

2021年上半期、新型コロナウイルス感染症（以下、「コロナ」という。）の影響により長期間抑制されていた製造業の設備投資が持ち直し、主に国内CAD/CAMシステム事業が堅調に推移したことに加え、営業訪問の制限継続等により販管費が抑制されたことなどから、当初計画を大きく上回って推移しておりました。しかし製造業向け政府補助金の採択動向およびコロナの再拡大、国内外における半導体不足の影響等が懸念され、当社の対象市場において先行き不透明感が拭えない状況が継続していたことから、通期業績予想数値については修正せず据え置きとさせていただきます。

このような状況下、当第3四半期においては緊急事態宣言の対象地域の拡大により営業機会が減少したことに加え、製造業の設備投資に一服感が見られ、製品販売が低調に推移しました。第4四半期に入り製造業の設備投資は若干回復傾向にあるものの、売上高は当初予想を超えるには至らず、1.0%下回る見込みとなりました。一方利益面では上期からの販管費抑制効果が継続したことなどから、営業利益は38.9%、経常利益は55.5%、親会社株主に帰属する当期純利益は81.5%、それぞれ当初予想を上回る見込みとなりました。

※上記予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって変動する可能性があります。

以上